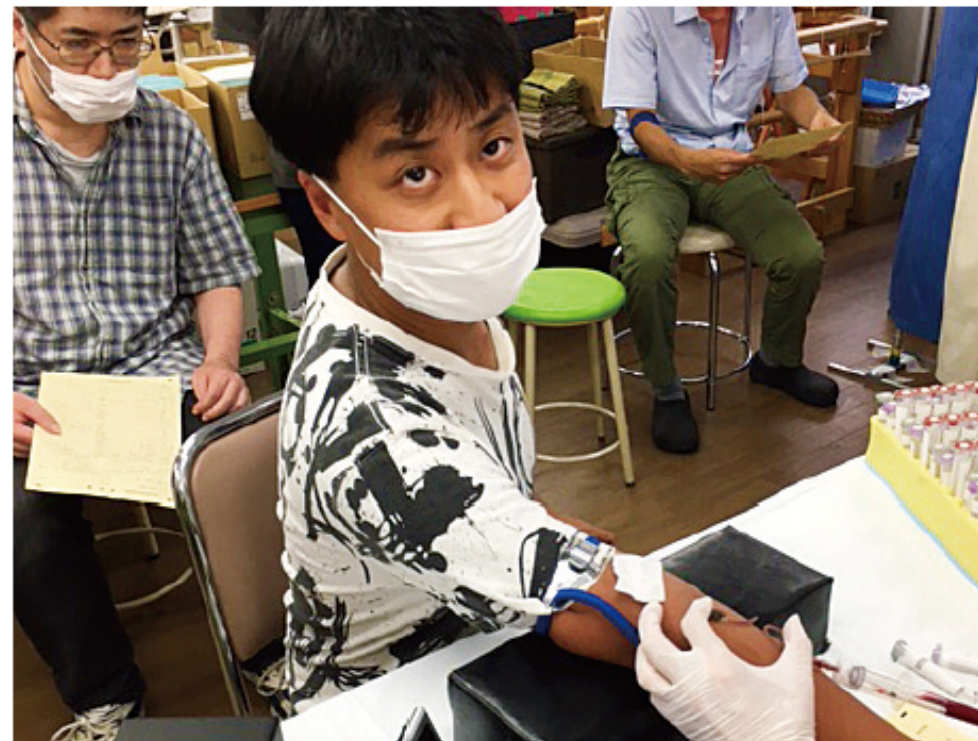


# ゆたかな労働と 生活の場をめざして

発行 社会福祉法人ときわ会 〒187-0032 小平市小川町 2-1159 番地  
URL <http://www.asayake.or.jp>

あさやけ  
だより  
No. 497

あさやけ作業所	小平市小川町 2-1159 番地	TEL 042-345-4575
あさやけ第二作業所	小平市小川町 2-1159 番地	TEL 042-345-1564
サングリーン	小平市小川町 1-943 番地	TEL 042-345-1585
あさやけ鷹の台作業所	小平市小川町 1-411 番地	TEL 042-346-2167
共同ホームつくしんぼ	小平市小川町 1-944-30 番地	TEL 042-342-7550
共同ホームこげら	小平市上水南町 2-21-17 番地	TEL 042-325-8716
共同ホームサンライズ	小平市小川東町 5-2-11 番地	TEL 042-346-0472
地域生活支援センターあさやけ	小平市小川東町 4-2-1 番地	TEL 042-345-1741
	小平元気村おがわ東1階	
共同ホーム一歩	小平市花小金井 7-2-24 番地	TEL 042-349-0305
あさやけ風の作業所	小平市中島町 3-8 番地	TEL 042-349-2366
共同ホームはやぶさ	小平市小川町 1-497-13 番地	TEL 042-313-6269
共同ホームさらさ	小平市小川東町 5-2-12-1 番地	TEL 042-313-2217



健康診断

あさやけ鷹の台作業所



金子 祐さん  
(あさやけ作業所)

仲間紹介

ひとりひとりが太陽

新しいことにチャレンジ



金子さんは、二〇〇二年あさやけ作業所に入所、今年で二〇年目になります。元気で若々しいので、この紹介のため入所年をあらためてみてびっくりしました。そんなベテランの金子さんの一日は、朝は一番乗りでこあら班の部屋へ元気に挨拶して登場します。ポランティアさんや実習生さんとはハイタッチであいさつ。しっかり者で自分の準備をてきぱきこなし、時々予定の確認したいときは、指差しや「あ」と一緒に確認します。職員が「今日は暑いね」など話しているとき、窓のカギに手をかけながら、「アイコンタクト」「開けようか?」と合図を送ってきます。

直しているのを見て、覚えていくようです。昨年からは、納品や買い出しも行くようになりました。納品先に挨拶をして商品を渡し、一緒に行くメンバーの様子を気にかけてくれ、優しく頼もしい面、柔軟な面は、私たち職員にとっては新しい発見でした。ものごとの場所や職員の動き話したことをよく覚えていて、さてアイロンをかけようかと立ち上がると、アイロンのコンセントを入れてくれたり気が利く動きもよくしてくれます。今年度から、お茶の時間にもんなのお茶を入れる係になりました。時間きっかり上手に入れたくれます。これからもニコニコの笑顔でやり取りを楽しみながら、新しいことにチャレンジしていきます。



あさやけ鷹の台作業所  
自主製品班で  
実習をしませんか



あさやけ鷹の台作業所では周りの自然を生かした染め、織りなどのものづくりをしています。メンバーたちは時間をかけて技術を習得し、味わいのある商品を作っています。作ることが好きな方、将来どんな仕事をしようか迷っている方、鷹の台作業所でものづくりの仕事を体験してみませんか。



大事にしていること

- ・一人一人のリズムを大事にします。
- ・安心して仕事に取り組める環境を作ります。
- ・持ち味を生かした商品づくりをします。
- ・商品販売を通して地域とつながります。

実習内容

刺し子、染め、織り、粘土雑貨、絵画制作、販売など。技術だけでなく、ものづくりの魅力、仲間と過ごす楽しさを感じてもらいたいと思います。実習生に合わせて柔軟にプログラムを組みます。お気軽にご相談ください。



実習の流れ

見学・事前面談  
まず作業所を見に来てください。そして実習をしてみたいと思ったらご本人とどんな実習にするか一緒に考え実習内容を決めます。

実習  
1日、1週間など期間は様々です。

振り返り  
実習でわかった得意なこと、これからの課題を話し合い、次のステップにします。

お問い合わせ  
あさやけ鷹の台作業所  
東京都小平市小川町 1-411-1  
042-346-2167  
FAX 042-312-3677 担当 首藤

ホームページ <http://www.asayake.or.jp/>  
ブログ: Ameba ブログ あさやけ鷹の台作業所  
Instagram: あさやけ鷹の台作業所

☆鷹の台作業所では下請け作業の実習も受け付けています。



## はじめてのオンラインでの介護等体験を実施

今年度、ときわ会では東京都社会福祉協議会からの通達を受け、毎年受け入れている武蔵野美術大学学生の介護等体験を史上初のオンラインという形で受け入れをしました。実施した事業所はあさやけ作業所、あさやけ風の作業所、サングリーンの三か所でした。参加した学生は二十九名になり、全体でのオンラインセッションが一日、各事業所での体験が六日間で、計七日間の介護等体験になりました。今までに体験したことのない形での実習受け入れとなり、なかなか勝手がわからない中での取り組みになりましたが、利用者との交流の時間をできるだけ多く持つように、学生、職員それぞれが工夫をし、活動をおこないました。

### 緊急事態におけるオンラインによる介護等体験の受け入れに感謝して

武蔵野美術大学 教職課程非常勤講師 川本 雅子

今年度の介護等体験は、実習初日7月27日の目前7月16日、東京都社会福祉協議会により対面実習の中止、全面オンラインへ移行の指示が出されました。施設職員の方々、大学教職員、学生に多くの混乱や負担を招きました。あさやけ作業所による実習の中止も検討されましたが、学生の学びの場の継続にご理解いただき、ただでさえ感染症対策等で通常とは異なる気遣いの多い作業所の日常に、学生を受け入れていただいたこと大変感謝申し上げます。実習を終えた今、考えさせられたことが沢山あります。職員の皆様には大変助けいただきました。対話の難しいオンラインは、学生たちに相手を理解しようとする事の重要性を突きつけました。この学びは、必ず学生の今後へ繋げ、社会へと送り出したいと思います。

### あさやけ作業所

介護等体験Zoomでの交流企画は、Zoomが初めての仲間は、画面の中の人や声が分かりにくかった様です。リズムを使った交流では、有線で接続していても音や動きのテンポが遅れて予想外に難しいことでした。しかしながら、現場の職員が集まり協力して、ある機材を集めて設置、工夫して、学生と仲間と職員と一体感が生まれたことにより、今までとは違った、達成感のある交流ができました。会えない環境でも、仲間が楽しめるように準備し、みづめ、耳を澄まし、話しかけてくれる学生の皆さんの温かい声や表情は、しっかりと仲間たちに届いて、繋がることのできたのではないのでしょうか。

あさやけ作業所 藤田亜希子

### あさやけ風の作業所

画面越しに学生さんたちに自分の仕事を見せ、紹介するメンバーの姿は誇らしげで、沢山の質問が出され、それにひとつひとつタッチパネルで丁寧に答える柳原さんの姿は印象的でした。企画では提案される内容に一生懸命考えて、答え、楽しんで画面の中に一つの作品が完成した時は「おー」と歓声上がるほどでした。オンラインでの実習と聞いた時心配がありました。あさやけ風の作業所を知ってもらいたいので働く方々を知ってもらいたい機会になったのではないかと思います。学生皆さんコロナ終息後ぜひ遊びにいらしてください。

あさやけ風の作業所 仲川理香

一緒に作った作品



創作活動体験中の様子



## サングリーン



ポストカード

サングリーンでは例年、納涼会のゲームなどの企画やアートの取り組みを実習中行ってもらっていました。今年は直前にZOOM実習への変更となり、詰めていた企画も中止、戸惑いとともに大慌てとなりました。実習生との触れ合いを楽しみにしていたメンバーもいたため、体験発表や朝会でのウォーミングアップとして「美術クイズ」を出してもらいました。みんなが楽しめたのは、作業の様子や職員の支援などサングリーンやメンバーのことを知ってもらえたからだと思います。短時間でしたが福祉と美術がつながる時間をもて、交流できたのではないのでしょうか。

みなさんに楽しんでもらいたいと工夫をこらし、実習終了後、班ごとにサングリーンへ作品を送ってくれました。休み時間に見ながら「この金魚のポストカード、プロだね」「ムサビの学校祭に行ったことある～」など話げできました。

サングリーン 畠山 梢



武蔵野美術大学構内すぐろく

### 学生さんの感想

造形ワークショップでは、全体で何かを完成させる企画であったとしても利用者一人一人の個性を尊重した企画にすることが、とても大切なことであると思った。そのためには利用者の方に一方的な説明をするよりも、問いかけを多くしたり、同時に視覚的、聴覚的なアプローチを使って伝わりやすくしたりするなど、利用者の方の個性が学生側にもわかるようにするといった工夫が必要だと思った。

(Oさん)

コロナ禍で施設の職員さんも忙しくなり、負担も大きくなっていく中、オンライン版介護等体験という学びの場を設けていただき、ありがたく思いました。個人的には三年時に介護等体験の手伝い役として参加できたらいいなと考えました。利用者さんとの交流が十分にできないまま、オンライン版造形ワークショップの企画書が完成してしまい、申し訳ない気持ちではありますが、画面の向こう側で笑ってくれている姿を見て、今回の企画内容が実施できてよかったと思います。

(Eさん)

### ブルーベリー栽培発祥の地「小平」から今年もお届けします ～サングリーン～

皆さんもご存知の通り、小平はブルーベリーが日本で初めて栽培された土地です。今年も小平市内にあるベンズファームさんで収穫されたブルーベリーをたっぷり使って、ジャムに仕上げました。

他の果汁や酸味料、増粘剤等は一切加えず、ブルーベリーとグラニュー糖のみで煮詰めて作った甘さと酸味、ブルーベリーの良さを味わえるジャムになります。

柔らかな食パンに塗ってもよし、もちろんトーストにもヨーグルトにもよく合います。今年の夏はもう終わってしまいましたが、練乳と一緒にかき氷にかけても楽しめます。

まずは、一本お試しください。

ご注文は サングリーン (TEL042-345-1585) まで。



ブルーベリージャム  
税込価格 700円

### (仮称) 上水南町作業所の建設工事はじまる

7月末に着工し、現在は写真のように基礎工事が終了した段階です。来年4月の開設を予定しています。

#### <新作業所の概要>

- ・事業と定員 労継続支援B型14名、就労移行支援6名
- ・作業内容 店舗運営と食品製造
- ・建物の構造 木造 地上3階建 (床面積/198.36㎡)



### せっかくの夏休み、雨だらけで…でも楽しかった♡ 共同ホームつくしんぼ

コロナ禍で行動の制約があって長い。

夏休みどうしようかと考えました。「安全な楽しみ方はあるか」なかなか解決策はありませんでしたが思い切って「少人数」で出かけてみようということになりました。つくしんぼでは5人のメンバーが一緒に暮らしていますが、日中通ってる作業所の夏休みもそれぞれ違っていました。



週末や長い休みの時には帰宅するメンバーもいますので「少人数」で、買い物・ドライブ2回・映画鑑賞の3パターンに分かれて出かけることにしました。買い物では近くのリサイクル店でCDやおもちゃなどをかう、ドライブは羽村方面や奥多摩方面、映画は「戦隊ヒーローものをみる」と決めて2人から3人と職員とでそれぞれ出かけました。

どうくつで大きかったです。  
あかるくてくらかかったです。  
カレーがおいしかったです。

並木 大さん

ひるわラーメンとぎょうざ  
たべました。  
くるまでいきてたのし  
かった。  
おんちゃん見てきました。

関 良子さん

あいにくどの日も雨でドライブでは生き先を変更したりしました。でも小雨の中日原の鍾乳洞に行ったところ「大正解」というのはおかしいですがとっても空いて鍾乳洞の中もゆっくり見ることができました。



# あさやけ アートフェスティバル 2021

一枚の白い紙をじっと見つめる目  
長い、あるいは短い沈黙！  
心の叫びがほどぼしり、鉛筆が動く！  
解放された心のままに！

生まれ出た1枚の絵  
ふと足を止めて見入る人  
「今年も来たよ！」と励ます人  
作業所ではめったに見られない満面の笑み  
その笑顔を共有し、  
ふと自分の心の広がり気づく参観者

われもまた、明日へ向かう力をもらおう！

社会福祉法人ときわ会  
理事長 遠山 陽子

開催場所  
ルネこだいら

開催日時  
10/4Mon~10/8Fri  
10:00-18:00  
(初日は13:00~、最終日は17:00まで)

入場無料

## ショップ

※こちらはショップの販売例です。新型コロナウイルス感染症対策により  
実際と違う販売方法や販売内容になることがあります。



**あさやけ第二作業所**  
小平産の野菜を中心に、  
国産のどれだて旬の野菜を  
使用したピクルスです！

## サングリーン

ふさんとスポンジの  
お得意「とくとくセット」

**あさやけ馬の台作業所**  
袋め、縫いと  
個性な小物がたくさん！

**あさやけ作業所**  
可愛いふさんとお菓子を  
売っています！

**あさやけ風の作業所**  
お菓子や雑貨など売っています。

【参加団体】 あさやけ作業所 あさやけ第二作業所 サングリーン あさやけ風の作業所 あさやけ馬の台作業所  
共同ホームーホー 地域生活支援センターあさやけ あーとまほこ(NPO法人)とちねっと ひまわりはたけ おたまき工房

【URL】 <http://asayake-artfes.wixsite.com/asayake>

【TEL】 あさやけ馬の台作業所 042-346-2167

【主催】 あさやけアートフェスティバル2021実行委員会

【後援】 小平市 小平市社会福祉協議会

## アクセス

ルネこだいら(東京都小平市園部町1-8-5)  
西武新宿線「小平駅」下車 南口徒歩3分

会場は駐車場がないため公共交通機関をお使いください



■ 感染防止のため、新聞・雑誌等の回収品は玄関前にお出しく下さい。ご協力をよろしくお  
願います。回収時間は午前9時から12時30分になります。

## 廃品回収のお知らせ

7月の廃品回収の回収量は11,820kgでした。内訳は新聞8,320kg、雑誌・ダンボール  
3,500kgです。収益は小平市の資源回収補助金も含めて147,600円でした

**次回は10月16日(土)が回収日です。**

雨天の場合は中止とさせていただきます。